

## 資料編

1	計画の策定経過	82
2	市民アンケート調査について	83
3	住民座談会について	84
4	地域福祉セミナーについて	86
5	中間案に対する市民意見募集結果について	87
6	東日本大震災後の市民意見の反映について	88
7	仙台市地域保健福祉計画策定委員会設置要綱	90
8	仙台市地域保健福祉計画策定委員会委員名簿	91

## 1 計画の策定経過

平成22年2月17日～ 平成22年3月3日	「地域における保健福祉のあり方について」市民意向調査・ NPO法人実態調査・社会福祉施設実態調査
平成22年 3月30日	第1回仙台市地域保健福祉計画策定委員会 ○第1期仙台市地域保健福祉計画に係る主な実施事業について ○第2期仙台市地域保健福祉計画の策定について 他
平成22年 5月31日	第2回仙台市地域保健福祉計画策定委員会 ○第2期仙台市地域保健福祉計画の主要な論点（案）について ○住民座談会について 他
平成22年 7月31日	五橋地区住民座談会
平成22年 8月22日	南光台東部地区住民座談会
平成22年 9月 4日	七郷地区住民座談会
平成22年 9月25日	秋保地区住民座談会
平成22年10月26日	第3回仙台市地域保健福祉計画策定委員会 ○住民座談会の結果について ○第2期仙台市地域保健福祉計画骨子の考え方(案)について 他
平成22年11月 6日	市民フォーラム「第8回地域福祉セミナー」
平成22年11月 8日	第4回仙台市地域保健福祉計画策定委員会 ○第2期仙台市地域保健福祉計画骨子について 他
平成22年11月14日	岩切地区住民座談会
平成22年12月 2日	第5回仙台市地域保健福祉計画策定委員会 ○第8回地域福祉セミナーの結果について ○第2期仙台市地域保健福祉計画中間案について 他
平成22年12月22日～ 平成23年1月31日	第2期仙台市地域保健福祉計画（中間案）に対する 市民意見募集
平成24年 2月29日	市民フォーラム「第9回地域福祉セミナー」
平成24年 3月27日	第6回仙台市地域保健福祉計画策定委員会 ○中間案からの変更について ○東日本大震災を踏まえた見直しの方向性について 他
平成24年 6月 8日	第7回仙台市地域保健福祉計画策定委員会 ○第6回策定委員会における意見の反映について ○中間案の東日本大震災を踏まえた修正案について 他
平成24年 9月 6日	第8回仙台市地域保健福祉計画策定委員会 ○第2期仙台市地域保健福祉計画答申案について 他
平成24年 9月19日	仙台市地域保健福祉計画策定委員会からの答申
平成24年10月	第2期仙台市地域保健福祉計画策定

## 2 市民アンケート調査について

### (1) 調査概要

第2期仙台市地域保健福祉計画の策定にあたって、地域保健福祉に関する市民のニーズや意識・意見を把握し、また、社会福祉施設やNPO法人における地域との関わりの実態等を把握することを目的として実施した。

(2) 調査期間 平成22年2月17日～平成22年3月3日

### (3) 調査の種類及び調査対象

#### ① 地域における保健福祉のあり方について 市民意向調査

対象：16歳以上の仙台市民(平成22年1月1日現在)から無作為に抽出した5,000人

#### ② 地域における保健福祉のあり方について NPO法人実態調査

対象：市内で保健福祉分野の活動を行っているNPO法人153法人

#### ③ 地域における保健福祉のあり方について 社会福祉施設実態調査

対象：社会福祉法人が経営する市内の社会福祉施設196施設

### (4) 調査方法

郵送方式にて実施

### (5) 回収数等

#### ① 市民意向調査 発送数5,000票/回収数2,305票

<回答者内訳(%)>

##### 〔1〕性別

男	女	無回答
39.0	57.6	3.4

##### 〔2〕年齢

19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答
3.0	8.9	15.5	15.4	15.8	19.1	13.4	5.7	3.3

##### 〔3〕世帯構成

一人暮らし	10.5	三世代	9.3
夫婦のみ	25.4	その他	3.4
二世帯(あなたと親の世代)	13.6	無回答	3.5
二世帯(あなたと子供の世代)	34.3		

#### ② NPO法人実態調査 発送数153票/回収数63票

<回答者の主な活動分野別内訳(法人数)>

高齢者在宅支援・施設訪問9、障害者在宅支援・施設訪問11、子育て支援・児童健全育成11、その他28、無回答4

#### ③ 社会福祉施設実態調査 発送数196票/回収数128票

<回答施設の根拠法別内訳(施設数)>

社会福祉法9、児童福祉法42、老人福祉法15、介護保険法12、身体障害者福祉法3、知的障害者福祉法16、精神保健福祉法8、障害者自立支援法14、その他3、無回答6

### 3 住民座談会について

#### (1) 開催趣旨

地域の保健福祉に関わる課題について、参加者同士が話し合い、解決につながるアイデアを出し合うことで、望ましい地域づくりを考える場とするとともに、計画策定の参考とするため開催した。



▲泉区南光台東部地区の様子

#### (2) 主催

仙台市、仙台市地域保健福祉計画策定委員会、仙台市社会福祉協議会

#### (3) 開催地区・日時・場所

区	地区	日時	場所
青葉区	五橋地区	平成22年7月31日（土）	仙台市福祉プラザ
宮城野区	岩切地区	平成22年11月14日（日）	岩切市民センター
若林区	七郷地区	平成22年9月4日（土）	七郷市民センター
太白区	秋保地区	平成22年9月25日（土）	秋保総合支所
泉区	南光台東部地区	平成22年8月22日（日）	前坂集会所

#### (4) 参加者

5地区合計で126名（男性66名、女性60名、20代～80代の方）が参加  
【参加者所属団体】

町内会、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、赤十字奉仕団、地区共同募金会、老人クラブ、体育振興会、ボランティアグループ、NPO、社会福祉施設、保育所、幼稚園、学校、PTA、市民センター、農協、商工会、等

#### (5) 開催内容・手法

##### ① テーマ

「私たちの地域のいいところ」「地域の中で困っているところ」「私たちにできること（やってみたいこと）」

##### ② 話し合いを始める前に

- ・ グループ内で自己紹介をする
- ・ グループの司会と発表役を決める

##### ③ 話し合いの進め方

- ・ 意見を「カード」（付せん紙）に記入し、「模造紙」に貼り付けながらグループごとに話し合う



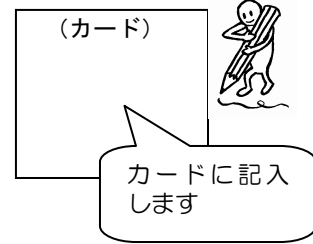
▲グループで話し合ったまとめ

<住民座談会の進め方の例>

**I カード（付せん紙）に記入する（目安時間10分）**

テーマについて、それぞれの考えをカードに記入。

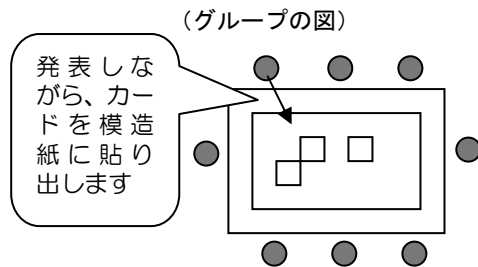
- ・カード1枚に1つのことごとを書き
- ・何枚書いても良い



**II 発表する（目安時間20分）**

グループ内で順番に発表。

- ・ひとりずつ、カードに書いたことを1枚ずつ読み上げながら発表する
- ・その際、カードを模造紙の上に貼り出す



**III カードをグループ分けする（目安時間15分）**

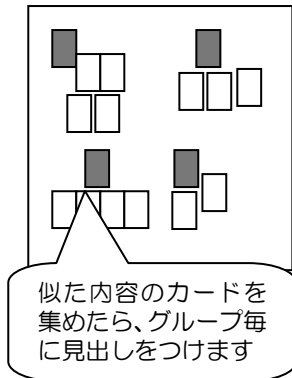
すべてのカードが出揃ったら、似たものを分類する。

- ・内容が似たカード同士を近くに寄せ、「似たものグループ」をつくる

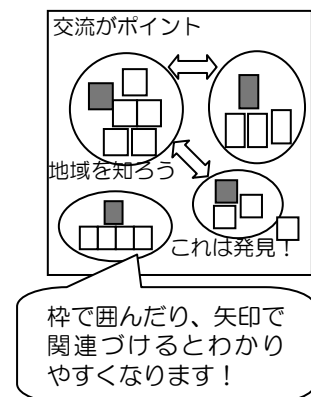
おおよその分類ができれば、「似たものグループ」に異なる色のカードで「見出し（タイトル）」をつける。

- ・出されたカードを模造紙の上で見やすくするための作業。まとまらないカードはそのままが良い
- ・グループに属さないカードからも新しい気づきがあるかもしれないので、大切にす

（模造紙の拡大図：例）



（模造紙の拡大図：例）



**V 全体を考える（目安時間15分）**

みんなで話し合いながら、出された意見の全体を振り返り、まとめを行う。

- ・関連するもの同士を矢印で結んだり、気づいたことやまとめになる事項を模造紙に直接記入する

**VI グループごとに発表をし、意見を共有する**

## 4 地域福祉セミナーについて

市民フォーラム「地域福祉セミナー」は、市民の地域福祉への関心を高めること、また新たな地域福祉の担い手を育成することをねらいとして、市民や福祉関係者等を対象に平成 15 年度から毎年開催している。



▲第8回地域福祉セミナーの様子

### (1) 第8回地域福祉セミナー

#### ① 日時・場所

平成 22 年 11 月 6 日（土）午前 10 時～ 仙台市福祉プラザ

② 主催 仙台市、仙台市社会福祉協議会

③ テーマ 住み続けたい 福祉のまち仙台をつくろう

#### ④ 趣旨

仙台市の「地域保健福祉計画」と仙台市社会福祉協議会の「地域福祉活動計画」策定に向けた、市民意見聴取の場として開催。また、市内で開催した住民座談会の内容を、各地区（セミナー当日までに実施した4地区）の出席者の報告をもとに、地域の保健福祉課題の解決策について参加者と共有する機会とした。

#### ⑤ プログラム

・シンポジウム 「みんなで考える協働のまちづくり～仙台市地域保健福祉計画・仙台市社協地域福祉活動計画と住民座談会～」

基調説明・コーディネーター：宮城大学事業構想学部助教 鈴木 孝 男 氏

発表者：五橋地区社会福祉協議会会長 北松 治 男 氏

南光台東部地区社会福祉協議会福祉活動推進員 朝倉 かほる 氏

七郷地区社会福祉協議会会長 庄子 義 氏

秋保地区社会福祉協議会会長 庄子 敏 明 氏

・分科会A ワークショップ「孤立させないまちにするために」

・分科会B 事例発表 「認知症になっても安心して暮らし続けられるまち」

・分科会C ワークショップ「子供と親の育ちを応援できるまち」

⑥ 参加者数 312 名（ボランティア、NPO、地区社協、民生委員、町内会、行政、地域包括支援センター、福祉事業所、学生、企業等）

### (2) 第9回地域福祉セミナー

#### ① 日時・場所

平成 24 年 2 月 29 日（水）午後 1 時～ 仙台市民会館小ホール・展示室

② 主催 仙台市、仙台市社会福祉協議会

③ テーマ 地域で取り組む支え合いのまちづくり～震災後の地域支援の現状と課題～

#### ④ 趣旨

東日本大震災の被災者が抱えている生活課題や、震災を機に浮かび上がった地域の福祉課題等を関係者が共有し、連携・協働しながら、被災者の孤立を防ぎ、地域における支え合いのまちづくりをさらに進めるために開催。

#### ⑤ プログラム

・シンポジウム 「地域で取り組む支え合いのまちづくり～震災後の地域支援の現状と課題～」

コーディネーター：東北学院大学経済学部教授 阿部重樹氏

〔1〕基調報告 「仙台市社協における被災者支援の取り組みから見えてきたこと」  
仙台市社会福祉協議会 地域福祉課 課長 高橋健一氏

〔2〕事例発表

「町内会における震災対応」

発表者：高砂地区町内会連合会会長 半澤宏明氏

「プレハブ仮設住宅等の支援における地区社協と民児協の連携」

発表者：六郷地区社会福祉協議会副会長 角張有孝氏

「地区社協における借上げ民間賃貸住宅居住者の方々の支援について」

発表者：中田西部地区社会福祉協議会福祉委員 遠藤涼子氏  
高柳久子氏

「地域包括支援センターにおける被災者支援について」

発表者：木町通地域包括支援センター看護師 村上廣子氏

・パネル展示 「東日本大震災 発生から1年間の記録」

⑥ 参加者数 369名（ボランティア、NPO、地区社協、民生委員、町内会、行政、地域包括支援センター、市区町村社協、学生、企業等）

## 5 中間案に対する市民意見募集結果について

(1) 募集期間 平成22年12月22日（水）～平成23年1月31日（月）

#### (2) 募集方法

- ・市政だより1月1日号および仙台市ホームページに募集記事を掲載した。
- ・「中間案」「中間案（概要版）」「意見提出様式」を下記の場所で配布した。また、同様の資料の電子データをホームページ上で公開した。

<主な資料配布場所>

市役所、各区役所、市民センター、シルバーセンター、地域包括支援センター、仙台市社会福祉協議会、区社会福祉協議会 他

(3) 意見提出方法 郵送、FAX、Eメールのいずれかの方法

(4) 募集結果 意見件数 11件（意見提出者 7名）

## 6 東日本大震災後の市民意見の反映について

本計画では、東日本大震災を踏まえた市民意見を計画に反映させるため、以下のことに取り組んだ。

### (1) 第6回・第7回策定委員会における主な意見

- ・震災時は住民間で声掛けをしていた
- ・自然発生的に見ず知らずの人同士が黙っていても助け合った
- ・40代のお母さんやお父さん達が避難所運営等に協力してくれた
- ・生徒を活用して避難所でプールから水汲みをした学校もある
- ・高校生や大学生をはじめとするボランティアはものすごい活躍を示した
- ・孤独を感じている他市からの被災者がNPOのふれあいサロンに参加し、居場所となっていた
- ・地域、学校、行政の協働が非常に大事だと震災で改めて感じた
- ・震災を踏まえた見直しの時に、地域内の見守り、支え合いは重要になってくる
- ・日頃の取り組みが今回の震災で生きたということを計画に盛り込むべき
- ・仮設などの目の届きにくい人に、どうアプローチするのかが課題
- ・借上げ民間賃貸住宅に住んでいる方がたくさんいる。地域の中で受入れをきちんとしないと駄目
- ・常日頃の要援護者に対する対策は保健福祉で考えていかなければいけない
- ・福祉避難所で十分に機能を果たしたものは半分ぐらいではないか
- ・避難所において、障害児に対しての視点が手薄だと思う。避難所に行かなかったというより避難所に行けなかったという声もあった
- ・地域と関わりがとれていない乳幼児親子に対する施策が見えない

### (2) 震災後の地域活動の好事例

#### <市民力 コラム①>

『住民同士の自助・共助による支え合い』

～太白区八木山南 街づくりプロジェクト～

〔聞き手〕阿部利美委員 (八木山南地区社会福祉協議会会長)

〔話し手〕高橋庄一郎氏 (八木山南連合町内会長)

高橋聡氏 (八木山南第一町内会副会長)

佐々木富美子氏 (地域福祉活動推進員)

佐々木磨氏 (八木山南おやじの会会長)

宮下志津子氏 (街づくりプロジェクトハタスケ隊)

岩淵和枝氏 (街づくりプロジェクトあ茶び場)

〔取材日〕平成24年6月19日

#### <市民力 コラム②>

『学生の姿に感激 若者の力はすごかった』

～東北学院大学災害ボランティアステーション～

〔聞き手〕阿部重樹委員長 (東北学院大学経済学部教授)

〔話し手〕佐々木俊三氏

(東北学院大学災害ボランティアステーション所長/東北学院大学副学長)

〔取材日〕平成24年7月3日



**<市民力 コラム③>**

『子どもが元気になると、大人も元気になった』

～NPO法人冒険あそび場一せんだい・みやぎネットワーク～

〔聞き手〕鈴木孝男 副委員長（宮城大学事業構想学部助教）

〔話し手〕高橋悦子氏（NPO法人冒険あそび場一せんだい・みやぎネットワーク理事）

根本暁生氏（同上 プレーリーダー）

〔取材日〕平成24年7月4日

**<市民力 コラム④>**

『地域の身近な支え合い活動の担い手 福祉委員』

～宮城野区燕沢地区 燕沢北町内会 福祉委員の取り組み～

〔聞き手〕庄司健治 委員（仙台市民生委員児童委員協議会会長）

〔話し手〕名取弘子氏（燕沢地区社会福祉協議会 燕沢北町内会 福祉委員）

〔取材日〕平成24年6月26日

〔取材協力〕折腹実己子 委員（仙台市地域包括支援センター連絡協議会会長）

**<市民力 コラム⑤>**

『みんながほっと一息“サロンなでしこ”』

〔聞き手〕事務局（仙台市健康福祉局社会課）

〔話し手〕庄子千枝子氏（JR南小泉アパート自治会なでしこ会代表）

大久保勝彦氏（同上 自治会会長）

〔取材日〕平成24年6月25日

**(3) アンケート調査の活用**

「東日本大震災に関する市民アンケート」

〔調査主体〕仙台市消防局防災安全課

〔調査対象〕仙台市に居住する16歳以上の男女、15,000人

〔調査期間〕平成23年11月25日～12月22日

「応急仮設住宅の現況調査と就労に関する意向調査」

〔調査主体〕仙台市復興事業局生活再建支援室・仮設住宅室

〔調査対象〕仙台市で受付し、応急仮設住宅に入居した8,935世帯

〔調査期間〕平成24年2月6日～2月20日

**(4) 参考データ**

「仙台市災害ボランティアセンター登録(活動)者の年齢別割合」

〔提供元〕仙台市社会福祉協議会（仙台市健康福祉局社会課で編集・作成）

〔対象人数〕8,248人 ※登録者(実人数)の総数から登録時の市内在住者を抽出

〔登録期間〕平成23年4月1日～7月31日

「地域支えあいセンターへの相談内容」

〔提供元〕仙台市社会福祉協議会

〔相談件数〕1,130件

〔調査期間〕平成23年12月～平成24年3月

## 7 仙台市地域保健福祉計画策定委員会設置要綱

(平成 22 年 2 月 26 日市長決裁)

(設置)

第1条 社会福祉法（昭和26年法律第45号）第107条の規定に基づき本市が策定する仙台市地域保健福祉計画に関する事項について審議するため、仙台市地域保健福祉計画策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、市長の諮問に応じ、仙台市地域保健福祉計画の策定に関する事項について審議し、その結果を市長に答申する。

(組織)

第3条 委員会は、委員 17 人以内をもって組織する。

2 委員は、学識経験者、医療関係者、社会福祉を目的とする事業を経営する者その他社会福祉に関する活動を行う者のうちから市長が委嘱する。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長 1 人を置き、委員長は委員の互選により、副委員長は委員長の指名により、それぞれ定める。

2 委員長は、委員会を代表し、その会務を総理する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員長は、委員会の会議を招集し、その議長となる。

2 委員会の会議は、委員長又は副委員長が出席し、かつ、委員の過半数の出席がなければ、これを開くことができない。

3 委員長は、必要があると認めるときは、委員会の会議に委員以外の者を出席させ、その意見を聴き、又は説明を求めることができる。

(解散)

第6条 委員会は、第2条の規定による答申が終了したときに解散する。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、健康福祉局健康福祉部社会課において処理する。

(雑則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

(実施期日)

1 この要綱は、平成 22 年 2 月 26 日から実施する。

(この要綱の失効)

2 この要綱は、委員会が解散した日限り、その効力を失う。

## 8 仙台市地域保健福祉計画策定委員会委員名簿

(◎委員長 ○副委員長)

- ◎ 阿部 重樹 東北学院大学経済学部教授
- 鈴木 孝男 宮城大学事業構想学部助教
- 阿部 利美 八木山南地区社会福祉協議会会長
- 大場 光昭 若林区まちづくり協議会顧問  
※ 就任時(平成22年6月8日)は仙台市連合町内会長会副会長
- 折腹 実己子 仙台市地域包括支援センター連絡協議会会長
- 木村 一則 社団法人仙台歯科医師会専務理事
- 小岩 孝子 特定非営利活動法人 FOR YOU にこにこの家理事長
- 古賀 詔子 社団法人仙台市医師会理事
- 齋藤 喜一郎 仙台市連合町内会長会副会長(平成22年3月30日～平成22年6月7日)
- 齋藤 道子 加茂中学校区学校支援地域本部スーパーバイザー
- 庄司 健治 仙台市民生委員児童委員協議会会長
- 中田 年哉 仙台市知的障害者関係団体連絡協議会事務局
- 中村 祥子 特定非営利活動法人グループゆう代表理事
- 二階堂 江里 太白区育児サークル応援隊 たい子さん
- 諸橋 悟 特定非営利活動法人仙台市精神保健福祉団体連絡協議会理事長
- 渡邊 純一 財団法人仙台市障害者福祉協会常務理事
- 渡辺 祥子 特定非営利活動法人ゆうあんどあい理事長
- 渡邊 礼子 仙台市ボランティア連絡協議会事務局長

(敬称略、委員は五十音順)



▲第8回策定委員会の様子



▲第8回策定委員会の様子